

平成23年6月27日

土幌町長 小林 康雄 様

土幌町環境マネジメントシステム監査チーム
主任監査委員 東村 達夫
副主任監査委員 植田 廣幸
環境自治体会議 遠藤 はる奈

独自目標監査報告書

LAS-E独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

- 1 . 監査日時
平成23年6月27日(月) 13:30～15:00
- 2 . 監査対象
土幌町役場
- 3 . 監査内容
LAS-E独自目標の平成22年度実績
エコアクション(環境活動)部門 第1ステージ
エコマネジメント(環境経営)部門 第1ステージ
エコガバナンス(環境自治)部門 第1ステージ

4 . 監査結果

独自目標		LAS-E規格項目別評価	
内容	達成状況	部門（項目番号）	評価
温室効果ガス H20 年度比 1%減	未達成	エコアクション部門	概ね良好
電気使用量 H20 年度比 1%減	未達成		
ノー・マイカー・デー月 1 回 実施率 100 %	達成		
廃棄物排出量 H20 年度比 1 % 減	達成		
公用車使用燃料 H20 年度比 1 % 減	達成		
水道使用量 H20 年度 現状維持	達成		
LAS-E 関係職員研修 年 2 回以上	達成	エコマネジメント部門	良好
各課 LAS-E 取組内容の確認 月 1 回	達成		
環境ニュース 年 3 回以上発行	達成	エコガバナンス部門	良好

5 . 所見

平成 22 年度の独自目標を監査した結果、エコアクション部門は「概ね良好」、エコマネジメント部門およびエコガバナンス部門は「良好」と評価しました。

エコアクション部門では、昨年度に達成できなかった公用車燃料使用量と水道使用量の目標達成に加え、昨年度より高い目標を掲げたノー・マイカー・デーの実施が達成され、職員の皆さんが改めて意識を高く持ち、エコオフィスの取り組みを進めていらっしゃる成果が現れています。

しかし、温室効果ガス排出量と電気使用量はわずかに目標達成には至りませんでした。温室効果ガス排出量は基準年に比べ 1.7 % 多く排出しており、その原因としては、春先に気温の低い時期が続いたことで、特養ホームにおける空調・給湯（入浴）用の A 重油使用が増えたことが指摘されました。天候が思わしくない中でも利用者の健康管理を万全にする必要から、今回の A 重油の需要増はやむを得ないものと判断できます。

電気使用量は、特に認定こども園とことばの教室で増加しました。その原因として、認定こども園で十勝地方の研究大会の当番地域であったため準備のための業務が増加したこと、勤務終了後に職員研修を行っていたことが挙げられ、ことばの教室ではプレイルームの床板の損傷を防ぐため、24 時間換気の必要があったことが挙げられました。いずれも、業務上必要と認められるものであり、また、各施設で電力使用量を抑えるための検討もなされていることから、職員の方が十分に努力されていると評価できます。

その一方で、車両センターの電気使用量増加の原因が特定できていないことをはじめ、数値の増減の背景を分析しきれていない側面も指摘できます。また、学校が集計対象になっていないなど、エネルギー消費量の把握対象が統一されていないことも課題の一つです。LAS-E の取り組みを広め、定着させるためにも、できる限り実績値を把握することが必要と考えます。また、目標に対する達成結果の背景に何があるのか、各部局からより多くの情報を得て、数字の増減の要因をより詳細に分析されることを望みます。

エコマネジメント部門では、LAS-E 関係職員研修と各課の取り組み内容確認が、いずれも計画通り実行されています。職員研修には環境カウンセラーを講師として招いており、身近な人材を活用して職員の知識向上に繋げようとする取り組みは高く評価することができます。

エコガバナンス部門では、環境ニュースとして役場だよりの中で LAS-E に関する情報を町民に提供しています。

今後は、共通実施項目監査などで高く評価された取り組みなど、職員の努力や独自の工夫を積極的に発信することで、町民の関心を惹きつけるとともに、職員がより一層の意欲を持って取り組めるように盛り立てていくことを期待します。

平成 17 年に LAS-E を導入して以降、本庁舎だけでなく教育機関や福祉施設などの外部機関にまで、徐々に取り組みが定着しつつあります。それぞれの部局・機関における実績値を把握することは、取り組みの有効性を確認する上で重要な情報になります。外部機関についても可能な限りデータを収集し、取り組みの成果が反映されるようなとりまとめをされることをお願いします。

～ 優良事例として環境自治体会議から取材を受けました～
平成 22 年度の優良事例として、下記の取組が取材を受けました。
環境自治体会議中口所長(芝浦工業大学教授)著作「LAS-E でつくる環境自治体」の中で紹介されました。

- 土幌高校～農業クラブによる食用廃油の回収
 - 役場町民課～無料提供古紙の再利用
- 書籍は図書館にあります。

